

氏 名 : 篠崎 真弓
学位の種類 : 博士 (看護学)
学位記番号 : 博看第17号
学位授与の要件 : 学位規則第4条第1項該当
学位論文題目 : 在宅医療における診療看護師 (NP) の活動に関する研究
研究指導教員 : 教授 大島 久二
論文審査委員 : (主査) 田中 留伊
(副査) 宮本 千津子、廣島 麻揚、浦中 桂一、大島 久二

論文審査結果の要旨

本研究は在宅医療における診療看護師 (NP) の活動実態および課題を明らかにすることを目的としている。

研究者が勤務する訪問看護事業所において、自計式行動観察調査を行った。その結果、診療看護師 (NP) は、臨床推論や医療的介入能力を活用し、訪問前に患者に必要と考えられる検査や医療的介入を確認し、医師と打ち合わせを行い、タイムリーに褥瘡の壊死組織の除去や検査などを行っていることが明らかになった。

次に、診療看護師 (NP) 13名を5グループに分け、フォーカスグループミーティングを行った。その結果、施設関係者の理解と支援を得ながら、訪問診療・訪問看護のどちらにも的確に対応し、チーム医療のキーパーソンとして多職種連携の調整役を行っていることが明らかとなった。また、診療看護師 (NP) による医療的介入に対して診療報酬がほとんど請求できないことや、処方権がないことにより診療看護師 (NP) としての活動能力を十分に発揮できない課題が明らかになった。

これらの結果は、日本の地域医療や在宅医療において、診療看護師 (NP) の役割やあり方を検討していく上で、重要な視点になると考えられる。

以上より、本論文および審査会における質疑応答を総合的に勘案し、学位規定第4条第1項に定める博士 (看護学) の学位の授与に値するものと評価した。

令和5年1月31日

論文審査委員 (主査) 田中 留伊